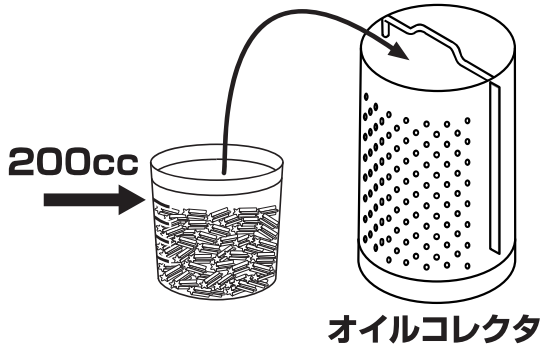


## ●オイルキャッチャご使用方法(ロースター1台当り)●

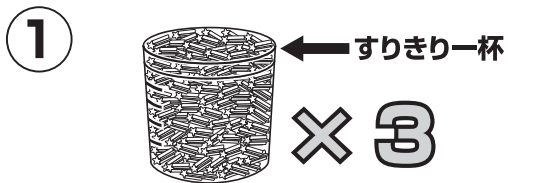
※弊社無煙ロースターには構造の違いにより、下記3種類のフィルタがございます。  
お客様がお使いのフィルタをご確認して頂き、下記の通りお使い下さい。

### Yタイプのフィルタの場合

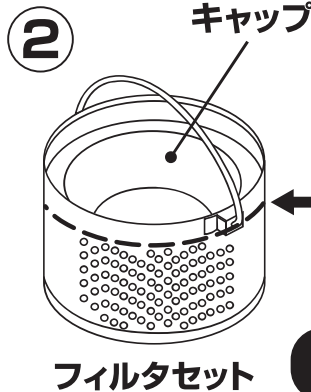


左図のように、付属の計量カップの  
**200cc目盛り線**までオイルキャッチャ  
を入れ、オイルコレクタに入れてください。  
この**1杯分**が基準量です。

### J・W・SVSSタイプのフィルタの場合



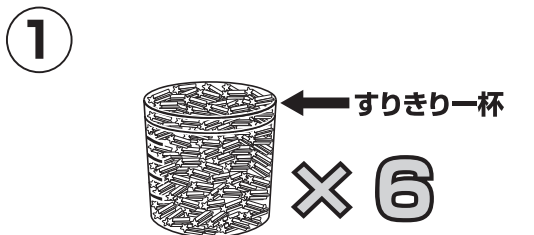
上図のように、付属の計量カップに  
**すりきり一杯**の  
オイルキャッチャを入れて下さい。  
この量の**3杯分**が基準量です。



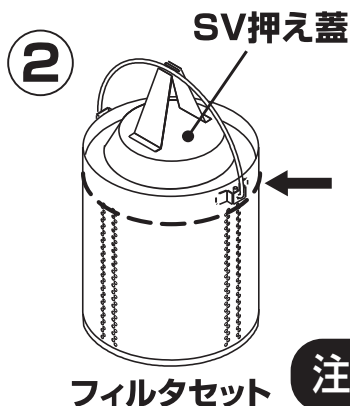
①の基準量を目安に、オイル  
キャッチャをフィルタセットの  
パンチングメタル(外筒部に  
ある4ミリの多数の穴)の一番  
上のライン(左図の点線部分)  
より上で、キャップが浮かない  
程度まで入れてください。

**注意点は裏面をご覧ください。**

### SV・SVSのフィルタの場合



上図のように、付属の計量カップに  
**すりきり一杯**の  
オイルキャッチャを入れて下さい。  
この量の**6杯分**が基準量です。



①の基準量を目安に、オイル  
キャッチャをフィルタセットの  
パンチングメタル(外筒部に  
ある4ミリの多数の穴)の一番  
上のライン(左図の点線部分)  
より上で、キャップが浮かない  
程度まで入れてください。

**注意点は裏面をご覧ください。**



※SVSは蓋の形状は異なり  
ますが、オイルキャッチャ  
の量は同じです。

※運搬中に細かい粒や粉が発生することがありますが、  
それを想定してあらかじめ増量しております。

## ●オイルキャッチャ交換時の注意点●

※J・W・S V S S・S V、各タイプにおいて、オイルキャッチャ交換時に適正量をしっかりセットされないと、パンチング部分にオイルキャッチャの隙間が生まれたり、キャップが浮いてしまったり、油脂回収能力がしっかりと発揮されなくなります。下記注意ポイント1～5の順に沿って、正しくセットして頂きます様お願い致します。

(例) J・W・S V S Sタイプのフィルタの場合



すりきり3杯 (小袋1ヶ) を  
フィルタセットに入れる。



少量がおさまりきっていない状態。  
※パンチング部分に隙間ありNG!



軽く数回叩きながら全て外周部分におさめる。  
※パンチング部分をオイルキャッチャでしっかり埋める。



すべて外周におさまるが、若干ラインより上にあふれる。(キャップが浮くのでNG)



キャップをのせてから、さらに数回叩く

# OK

・量も適正

・キャップも浮かない